日刊
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人　川崎文治
本社ト同番地
印刷所　常磐毎日印刷所（電話六三〇番）

常磐毎日新聞

八月二十一日夕刊

定價（一部金貳錢　一ヶ月壹錢）
廣告料（五號一行　五十錢）
休刊日（日曜大祭　祝日ノ翌日）
郵稅五厘
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番

買收は依然として

田中五郎

―承前―

即ち新選擧法を以てしては到底選擧界の刷新は望まれない然らば如何にすれば我が選擧界の腐敗を取除き得られるかといふに英國流に選擧の取締を一層嚴重にする外ないと思ふ即ち英國では選擧に違反行爲があれば其の選擧區全体が選擧權の行使を停止せられる又一票の買收があつても當選無効となるのであるから買收したくも之に應するものがない、つまり投票の買收は絶對に出來ない實情になつてゐる故に英國の候補者は最も多額の選擧費を投じたるものにても六千圓で多くは千圓二千圓と云ふ程度である、尤も選擧人の騙り出しに妙齡の美人を利用することなどは盛んに行はれてゐるが兎に角英國は法律の力を以て選擧界の最も大なる禍根を絶つことが出來たのである、然るに此の制度に對しては主として連座法は舊式であるといふ理由の下に反對するものが多いのであるが是等は英國などの實狀がよくわかつてゐない所謂半可通の議論であつて斯る議論が實際に行はれてゐる間は我が選擧界の刷新も政界の廓清も到底期待し得られないと斷言して憚らない

（をはり）

一册の代金で御希望通りな五册の雜誌が自由に讀める川崎巡回文庫
電話六三〇番
（申込次第規則書進呈）

中元贈答品
箱入タオル
ハンカチーフ
敷布
靴下
石鹸
ツルヤ商店
電話百四十

東北一の
鉄道省御用達
花澤のあんの鮮
花沢西良商店
平駅前

八月二十日替り
マキノ映畫
マキノ正唯・武井龍二・泉春子共演
連續時代劇
怪人狼　最終篇
吉田豊作・松葉えみ子主演
現代映畫　親子獅子　全卷
帝キネ連續時代劇
市川百々之助優主演
俠客傳　祐天仙之助　前篇
マキノ映畫特作品
月形龍之助・マキノ輝子主演・大時代劇
裁かるゝ者　全十二卷
帝キネ直營　有聲座

羅漢丸
寒暖計
閑天藥局
電四〇番

着尺モスリン
江戸好中形
粋な手拭中形
紺小紋
平　亀田屋

八月十八日より
特價提供
中元大賣出し
友仙モス十二錢より、モス着尺四圓より
名城絞九十錢より、其他期節向き種々
―蚊張も大安賣致します―
ビヒ……御用命を
喜好屋吳服店
平町四丁目

男女
小供服ノ刺シウ
講習會
一、期日　八月二十四日ヨリ三十日マデ七日間
一、會場　平町私立藤田裁縫女學校
一、會費　金貳圓也
一、申込場所　平町田町ハシモトヤ糸店
一、申込期日　八月二十三日迄
詳細ハ講習ノ案内御請求下サイ
主催　ハシモトヤ糸店
後援　藤田裁縫女學校

沙尿婦人科皮梅科
阿部診療所
平町字新川町　電六一五番

本場盛岡
南部鐵瓶一手販賣
臺子釜……二升より五升入迄各種
鐵瓶……二合入より四升迄各種
―代價三圓以上十五圓迄―
（販賣員募集）
南部屋鐵瓶店
平町南町廿九番地

登錄商標
醬油
味噌
鰹節
酒類
製造問屋
鹽屋山崎合名會社
電話　營業部一〇番
工場二七番

貸家廣告
一、停車場前旅館水道造作風呂附
一、内郷村小島紳士向住宅八疊、六疊二間物置風呂場附一ヶ月金拾貳圓
一、平劇場ワキ紳士向三間金十五圓
一、同　勤人向金十圓
一、仲間町商店向金十圓
一、同　勤人向金五圓
一、同　同　金十圓
一、北白銀町同金八圓五錢
加藤營業所
白銀町　電話三二番

代診至急入用
原齒科醫院
院長　原精一
副院長　東京齒科醫學士　石田仁
平町上橋通り電話三一番

移轉廣告
今般營業上都合により表記に移轉仕候に付相不變御引立の程御願申上候
水飴各種瓶詰
金世界葛糖
煉油香油製造
平町白銀町一五
卸商稻葉屋
伊藤商店

内科
小兒科
花柳病
科（入院應需）
平町紺屋町
藤沼醫院
電話長五七〇番

自慢の音頭で大圓陣が踊り狂ふ

今日から三日間

▽……舊盆で賑ふ平町

舊盆三日間に於ける平町のカヽリ火、ヂャンガラ念佛櫓太鼓の盆踊何れも石城の名物に唱へられ昨廿一日（舊十三日）の迎佛墓參で佛壇が賑かになつた今十四日から十五六に至る三日間の夜の平町は全く他に見られぬ歡樂のちまたと化し毎夕

日沒を 待つて戸ごとに焚かれるかゞり火は約一時間全町を火の海に包みやがてそれが消ねると近郷近在から繰込むヂャンガラの念佛團かねと太鼓に相和して新盆の慰靈に次から次へと踊廻る老若男女の群れやぐらたつ周圍の

雜踏が また一きは

で上に自慢の咽喉を張上げて音頭をとれば下には十重廿重の大圓陣が踊り狂ふ其所に見物がごつた返して何所も彼所も交通と絶の雜踏を呈し最終十六日は夜の十二時過ぎから踊の全部が鎌田遊廓に移つて

夜明け まで唄と踊の限りを盡し大團圓を告げるのだが本年は樫村平署長の粹なる方針で假裝の如きも甚だしく風紀を紊さぬ限りお叱りがないさうで若い男女に悅ばれても居る樣なれば天候次第で一層賑はことであらう

泣きじやくる若い二人の女

獸物の樣な男にたやすく誘拐されて

二十日の午後四時ごろ平署の小使部屋でどつちも赤ん坊をだいて乳房を含ませながら誘惑されたのが今初めて分かりさめ〳〵と泣きじやくりつゝ身の上を語り合ふ若い二人の女があつた

幼ない折兩親に別れ孤獨に育つた石城郡四倉町字仲町妻梅田つの（九）が遠緣に當る茨城縣久慈郡久慈町生れ鈴木政造（七）が京都の帝大法學部一年生と稱し

制服制帽 で去る十三年の春訪ね來た折かねて許嫁の間柄だと聞かされ十七の少女は何の考へもなく末は學士の妻を夢み政造と共に京都に行つて同棲三年女の兒まで產み去る七月始め暑中休暇を利用して三年振りで

四倉町へ 歸省同町海岸梅田某方の離れ座敷を借り受け金に困つた政造が

雜踏 間違ないと思つてゐます〳〵子を抱へて泣いてゐる

× ×

白河郡釜子村生れ吉田よしえ（三）は昨年夫に別れてから白河町旅人宿若江屋方に

悪錢身に着かず

懷中に僅か卅五錢

主人の金を横領し

進退谷まつて平署に自首

東京市淺草區瓦町紙商櫻井造酒藏方雇人風野次（二）は去る十八日午前八時頃雇主方から原表紙六百枚を東京市下谷區入谷町古谷方に配達を命ぜられて配達し代金廿圓を受領し雇主方の自轉車に乘つて逃走千葉縣舟橋驛に至り右の自轉車を放棄し今度は汽車に乘つて平町に來たが懷中に餘す處僅か卅五錢のみとなつて進退谷はり廿日平署に右の仕末を自白し出たと

八十翁の人命救助

表彰

二十日縣から

石城郡夏井村下大越字細田九七農小林傳治（八二）は去る六月卅日午後三時頃同字横水仕奉公中投宿客である蛇使ひの香具師平町字南町矢田定吉（二五）から女房にするが成らぬかといはれたのを

眞にうけ て定吉のあとを追ひ去る十六日から三日間平町搔槌小路濱田屋旅館事吉根はつ方に滯在夫婦氣取りてゐたところ平署で不審と睨み取調の結果右の次第と分かり定吉には妻子まであるとを諭され泣く〳〵歸鄉したがはつは

無屆宿泊 した廉で二十日科料十圓のお灸

十八日午後小名濱海岸を徘徊擧動不審の廉で平署で取調べられた處大學生などとは眞赤な僞り嘗盜前科一犯の漂浪者であることが判つた妻つねはそんな惡い者とは夢にも知りませんでしたと今でも

大學生に 間違ないと思つてゐます〳〵子を抱へて泣いてゐる

× ×

白河郡釜子村生れ吉田よしえ（三）は昨年夫に別れてから白河町旅人宿若江屋方に

惡錢身に着かず

懷中に僅か卅五錢

主人の金を横領し

進退谷まつて平署に自首

東京市淺草區瓦町紙商櫻井造酒藏方雇人風野次（二）は去る十八日午前八時頃雇主方から原表紙六百枚を東京市下谷區入谷町古谷方に配達を命ぜられて配達し代金廿圓を受領し雇主方の自轉車に乘つて逃走千葉縣舟橋驛に至り右の自轉車を放棄し今度は汽車に乘つて平町に來たが懷中に餘す處僅か

和へ物二つ

◆薄ざめ蒟蒻　こんにやくをたて二つ割として小口より切りゆでゝザルに揭げ水氣をきつて鍋に入れ醬油少量、砂糖少しを加へて下煑しておき別にからしを水でねり布巾に包みて熱湯にひたし廿分程そのまゝにしておきます。そしてすり鉢に味そからし、砂糖と酢を加りませ、味の加減を見ましてこんにやくを入れ和へるのです。それを少しさまして進めます

▼シバエビおろし和へ　シバエビを鹽少量加へた熱湯にゆで皮をむいておき大根をすりおろしてザツと汁をしぼつておきます。鉢に大根おろしを入れ酢、砂糖、味の素などませシバエビを入れて和へるのでございます

八十翁の人命救助

表彰

二十日縣から

石城郡夏井村下大越字細田九七農小林傳治（八二）は去る六月卅日午後三時頃同字横町九一銀治三男渡邊巖（六）が友達數名と共に同村字北菅野地溜池で遊泳中誤つて深瀨に陷り溺死せんとするを發見直に着衣のまゝ水中に飛び込み救助したかどにより廿日縣から表彰された

カチ〳〵山の

タヌキ同然

背中に大火傷

石城郡磐崎村大字上湯長尾字力石小野田炭鑛先山夫朝鮮人徐載浮（四九）は廿日午前十一時頃同炭坑第五斜坑にて發破作業に從事し導火線に火を點じた所肩に掛けて居た火藥箱に延燒一時に黑色火藥百四十匁が爆發した爲め背中其他に瀕死の大火傷を蒙つたと

平町人事

▲出生

△三丁目三八　清水安弘氏次男弘三

▲死亡

△南町六四　高橋正男（一つ）

社告

明後日は舊盆十六日に相當仕候間工場員其他從業者慰安の爲め休刊可仕此段御諒承願上候

八月廿一日

常磐毎日新聞社

常磐片々

○

二人の女平署の一隅にさめ〳〵と泣く、身から出たサビは恐ろし

○

主人の金廿圓を懷中に東京から自轉車で逃げ懷中僅か卅五錢進退谷まつて平署に自首、無鐵砲者のよき標本也

○

大正カチ〳〵山背中に爆藥

○

『盆が來たのにヤーレ、踊らぬ奴ソーヨー……』猫や金佛樣にされては堪らぬ踊れ、踊れ

少女歌劇今晩から

▼……前景氣緊張し

▼……ファン熱狂す

昨報愈よ今晩から平劇場に再び開演する關西少女歌劇團は開演に先き立ち少女達一行が三台の自動車に分乘し全町に宣傳ビラを

撒布する 等一層前景氣を煽つたがお馴染の多い事とて『アレが吉野花子だ』『アレが筑波だ』『ヤツ綾子だ、文子だ』等と街頭に群れ集ふ人々は歡聲を擧げて花をあざむく可憐な洋裝姿を見送る熱狂振りに一行も非常に感激し命をこめて期待に報ねねばならぬと意氣込みが素晴らしいから今晩も前回に增した華々しい

舞台面を 描き出す事であらう因に一行が如何に平町の歌劇ファンを感歎せしめたかは『平町、田口』の匿名を以つて同團に當てられた左記書狀に依つても明らかである

拜啓殘暑の候少女歌劇團の今後の繁盛を祈ります僕等は一行の人形の樣な且つ鮮やかな演出振りを拜見しその喜び限りなきものが御座いました、一度少女歌劇の豫告さるゝやその開演を非常に期待したのですが果せるかな開演中は毎夜の如く大入滿員でした、豫期せざるに今度も又再び舊盆をトして公開との事喜び是れに過ぎたるは御座いません、どうぞ今度もより以上に洋劇や悲歌劇をとり入れて僕等を喜ばして下さい

（後略）

海水浴場が

寂びれ行く

冷氣と舊盆で

石城郡小名濱海水浴場に於ける土用中の滯在者は約一千名に達して居たが數日來の曇天と舊盆の近づいた爲め浴客は何れも歸宅しごく僅の學生が殘つてゐるばかりである本年は昨年に比べはるかに高溫であつた結果其浴客は昨年の夫に比し非常に多かつたが町內各營業者の收入は昨年よりも少くとも不景氣の影響と觀られてゐるが特に旅館等に於て晝食等をなすものは昨年の約半分位で腰辨當の連中が多かつた

基督教會

竣工

南町裡の偉觀

日本基督平教會では先年三萬圓の工費を以て同町南町裡にモルガン氏の設計に成る禮拜堂日曜學校幼稚園社會室等の新會館を新築工事中の處此程愈々竣工近く開館記念の大講演會を催す筈であると